

# 大好評！第二回教育セミナー開催！



六月十八日(金) 十九時より、香川県教育文化研究所主催、香川県教職員連盟協賛による第二回教育セミナーを、Zoomウェビナーを活用して開催した。今回も徳島県教育文化研究所とも連携して開催し、会場参加者を合わせて七十名を超える参加があった。北村頭吾香川教文研理事長(香教連委員長)の挨拶の後、今回は「より良い人間関係をつくるには「保護者」との関わりを中心に」と題して、講師として阪根健二様(鳴門教育大学名誉教授・香川教文研所長)をお招きしてお話していただいた。

まず、「なぜ、保護者対応が近年難しくなったのか？」の背景について述べられた。阪根先生は、二十年前の児童生徒が保護者になっていたりことやその当時の指導体制の在り方と今日の指導体制の在り方との大きなずれ(当時は許されていたことが今日では厳罰化されていること等)が生じていること等を挙げられた。そのうえで、愛とロマンだけでは解決しない、「理性的な対応と仕掛けが必要」であることを述べられた。そのためには、対話することの必要性を挙げられた。対話することで、お互いのずれ違っている意味を知ることができ、互いの主張や願い等に早く気付くことができる、それが相互関係をよりよくしていく第一歩になる(解決に向かう)ことを話していただいた。

次に、具体的にどう対応していけばよいかを、五つのポイントを挙げて話していただきました。

- ①「誰に対して、何を求めているのか」を把握し、適切に対応すること
- ②相手の思いを傾聴し、理解に努める姿勢を示すこと
- ③客観的な事実と思い込みや想像などと区別しながら、訴えるの内容を確認すること
- ④組織として対応できるように、必ず「報告・連絡・相談」を確認すること
- ⑤学校としてできること、できないことを説明した上で、子どもの健やかな成長という方向性を示しながら、話を進めていくこと

まとめとして、新しい時代を担う子どもたちをどう育ていくかとして、これからは「Well-being(良好性)」「(身体的、精神的、社会的に)良好な状態」を基盤として学校教育を推進していくことが重要であることも述べられた。

最後に、濱田学徳島教文研理事長(徳教団委員長)が謝辞、閉会の挨拶をし、今回も充実した教育セミナーとなった。

# 厚生労働省・文部科学省へ要望



六月十四日(月)、まず厚生労働省に對し要望活動を行った。Zoomを用いたWeb方式での要望となったので、香教連からは、北村頭吾委員長(全日教連副委員長)、高木俊彦事務局長(全日教連執行委員長)は香川県の香教連事務局から、村松宏晃副委員長(全日教連事務局次長)は東京都の全日教連事務局から、それぞれ出席した。厚生労働省からは、子ども家庭局家庭福祉課内尾彰宏様をはじめ三名が対応していただいた。

児童生徒の自殺防止のためのSNSによる相談体制強化や、ヤングケアラーに対する支援・相談体制の強化等について要望し、回答を得ることができた。

情報交換では、自殺予防のためのSNS相談体制についてやヤングケアラーに対する学校での対応、スクールソーシャルワーカー養成の重要性等について、各地域の実態を踏まえた要望を行うことができた。

次に、文部科学省に對し要望活動を行った。文部科学省への要望についても、Webexを用いたWeb方式での要望となったので、香教連からは、北村頭吾委員長(全日教連副委員長)、高木俊彦事務局長(全日教連執行委員長)は香川県の香教連事務局から、村松宏晃副委員長(全日教連事務局次長)は東京都の全日教連事務局から、それぞれ出席した。文部科学省からは、大臣官房審議官(初等中等教育担当) 蝦名喜之様をはじめ四名が対応していただいた。

主な内容としては、

- 小学校高学年への教科担任制導入の際には、教職員定数改善を前提とすること。
- 現在の加配定数の確実な維持。
- 高等学校における通級指導の充実。

文部科学省からは、蝦名審議官をはじめ、それぞれの担当者から回答を得ることができた。また意見交換では、教科担任制における引継ぎや移動の問題等についてや加配定数の維持の必要性等について要望を行うことができた。

なお、厚生労働省や文部科学省への詳しい要望の内容は、全日教連教育新聞等でお知らせします。

# 第一回会長・事務局会長 第一回執行委員会リモート会議で開催



六月十九日(土)、令和三年度第一回会長・事務局会長、第一回執行委員会を開催した。新しい会議の持ち方、また新型コロナウイルスによるリモート会議も考慮して、Zoomによるリモート会議を行った。北村頭吾委員長の挨拶の後、新体制になって初めての会長・事務局会長、執行委員会ということもあり、画面を通しての顔合わせとなった。その後、高木俊彦事務局長より経過報告を行った。議事の中では、新型コロナウイルス感染症まん延の影響による本年度行事の変更や組織対策・強化の必要性とその方策について議論がなされた。今後も組織の理解を進め、各単組においても更なる拡大を進めていくことを確認した。また、那須将弘高松市学校職員協議会会長から、専門部会において「特別支援教育部」の設立について案をいただき、出席者の承認を得て、具体的に検討していく方向になった。各地域の役員の方々がほぼ出席していただき、充実した会議となった。

# 採用試験対策部研修会のお知らせ

## 第四回 採用試験対策部研修会

○日 時 八月十日(火) 九時三十分～十二時 (受付九時)

○内 容 香川県教育会館二階会議室 (模擬授業・個人面接等について)

参加申し込み・お問い合わせ等については、香教連事務局までお願いします。

なお、第四回採用試験対策部研修会につきましては、現在のところ、開催を予定しております。ただ今後の社会状況によって変更になる可能性がありますことを御了承ください。香教連HP等でお知らせいたしますので御覧ください。

TEL 〇八七-一八三五-二七二二  
FAX 〇八七-一八三五-二七二三

※メールでのお申し込みも受け付けます。

